

学校法人 瓊浦学園

学校法人瓊浦学園 文化部活動の在り方に関するガイドライン

- ・「生徒のバランスのとれた生活と成長の確保」「障害・外傷の予防」のほか、生涯にわたって芸術文化等の活動に親しむ基礎を形成するためにも、分野や活動目的等の特性を踏まえつつ、文化活動において適切な休養日及び活動時間を設定すること。
- ・芸術文化等の活動に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めるとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・生徒の自主性、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的でかつ効率的・効果的に取り組むようにすること。
- ・文化部活動の多様性に留意し、可能な限り、生徒の多様なニーズに応じた活動が行われるよう、実施形態などの工夫を図ること。

瓊浦高等学校 文化部活動に係る活動方針

文化部活動に係る学校の実情等

【本校の取組と地域の実情】

- ・本校の校区には歴史的にも貴重な史跡が数多く点在しており、これらの文化を学ぶことで郷土愛を育んでいる。また地域とのつながりを大切にするため、行事等への参加を積極的に行っている。
- ・学校周辺の地区では、高齢者の割合が増加し少子化のため、地域行事の運営に本校生が無くてはならない存在になっている。
- ・校区外からの出演依頼も増えており、地域活性化の一役を担っている。

【施設等の使用状況】

- ・本校はすり鉢状の地形の住宅密集地に位置しており、音が反響し合い、近隣住民からの音に対する苦情が多い。防音対策を施した教室の窓を閉め切った状態で活動しているが、この問題は解決に至っていない。

【文化部の成果】

- ・全国総文祭や九州大会へ出場する部活動も多数あり、県大会における金賞・優秀賞の受賞数も増加している。
- ・交通機関の企業とコラボして、ポスターを制作し、高校生の交通マナーアップに貢献した。
- ・ランタンフェスティバルを始め、地区の祭、神社への奉納等、毎年の恒例行事に参加し、講評を得ている。

本校の活動方針

【部活動のねらい】

- ・部活動を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。また、文化の専門的技能や知識を身に付け、生涯にわたって芸術文化等の活動に親しむ能力や態度を育てる。

【休養日及び活動時間】

- ・文化部活動の多様性に留意し、各部活動において適切な休養日及び活動時間を次のように設定する。
- ・週1回の休業日を設定する。曜日は各部で設定する。
- ・原則として月2回以上は週末を休養日とする。
- ・夏季休業日と冬季休業日を合わせて10日程度の休養日を設定する
- ・平日の活動時間を3時間程度とする。
- ・原則として休業日の活動時間を4時間程度とする。但し、大会や練習については、各個人の主たる活動状況（時間）を把握し、怪我やバーンアウトすることがないようにする。

【活動計画立案（大会参加の目安を含む）及び提出と公開】

- ・各部がチームとして目標設定を行い、月間計画表及び年間計画表を作成して、部員・保護者と共用する。

【研修参加及び情報の共有、保護者や外部指導者との連携】

- ・校内において部活動顧問会を開催して、各部の現状把握と情報交換を行いながら全体のレベルアップを図る。また、保護者会を開催して保護者との連携を密にしておく。

【生徒のニーズを踏まえた文化部設置の検討】

- ・生徒総会等で検討し、活動場所、活動状況を踏まえた上で精査していく。